

社会福祉法人容雅会 令和2年度事業報告

社会福祉法人容雅会として、令和2年度は「明るい笑顔で、地域に不可欠な存在を目指します」を掲げ、改めて地域を担う社会福祉法人としての社会的役割と存在意義を確立し、利用者様、ご家族様、地域の皆様から信頼され、職員へも充実した職場環境を提供できるような事業展開をすべく下記の①～④に重きを置き運営を行って参りました。

①利用者様、ご家族様に対して

- ・人権の尊重
- ・ケアの質の向上、均一化
- ・ご家族への適時適切な説明とコミュニケーション促進

②地域の皆様に対して

- ・公益的取り組みの推進

③職員に対して

- ・明るく楽しい職場環境作り
- ・教育、研修の充実
- ・職員の処遇向上
- ・介護ロボット活用等による業務の効率化

④各事業に対して

- ・稼働率の向上
- ・事業内託児所のあり方についての再検討
- ・外国人材の登用について

令和2年度はこれまで誰も経験したことのない新型コロナウイルスの脅威の中で、社会福祉法人としての社会的役割や、利用者様・ご家族様からの信頼をどのように得て、運営をしていくのかを暗中模索した1年間でした。

「利用者様、ご家族様に対して」の中に挙げた「ご家族様への適時適切な説明とコミュニケーション促進」については、面会制限などの感染症対策により、施設へお出でいただく機会が減ってしまったご家族様に対して施設から文書の郵送や電話などを利用して感染症対策の変更点や近況を随時お知らせしてきました。今後はオンライン面会をより推奨することにより、利用者様とご家族様のコミュニケーションの促進に努め、相互のストレス緩和に役立てられればと考えます。

「地域の皆様に対して」で挙げた「公益的取り組みの推進」については、今年度は感染症対策によりシルバーリハビリ体操への会場提供はほぼ行うことができませんでした。オレンジカフェ（認知症カフェ）事業については、感染拡大状況を見ながらの開催となり今年度は4回の開催となりました。

したが、感染対策をしながらの開催は外出機会が減っていた高齢者の数少ない交流の場となり、有益だったと考えます。今後も感染状況を鑑みながら集いの場の創出を図ります。

「職員に対して」で挙げた「明るく楽しい職場環境作り」「教育、研修の充実」については、三密の回避などから歓迎会や初任者研修など大人数での研修の開催ができず、当初の目的は果たせませんでした。しかし、施設内研修は一つの内容に対しての回数を多くして出席者を分散させる、席の配置や換気に気を付けるなどの工夫をした結果、参加人数の向上が見られた為今後も継続いたします。

「各事業に対して」については、利用者様やご家族様に対して、特養・短期入所（ショートステイ）・通所（デイサービス）の出入口の分散、1階浴室の利用時間毎の換気など各事業の利用者様同士が交わることのないような対策やパーテーション設置などソフト面・ハード面それぞれにおいて様々な感染症対策を施し、安全安心に利用いただけることを周知してきました。しかし、ひとたび近隣でクラスターの発生などが報じられると各事業への新型コロナウイルスの影響はとて大きく、特にショートステイとデイサービスへの利用控えは稼働率に大きな打撃を受けました。しかし稼働率の減少に歯止めをかけるべく、広報誌の作成、感染症対策の充実や特養・ショートステイ・デイサービスの併設施設であることの利点を活かした広報活動を相談員が行っております。

特養においても、重度化してきた利用者様の入院の長期化や感染症対策による空床への入居までの期間の長期化が稼働率の悪化を招きました。次年度は各医療機関や事業所との連携を密にして、退院調整や入居をスムーズにすることで稼働率の上昇・維持を目指します。

居宅介護支援事業所においては、令和2年9月に居宅介護支援事業所内郷事業所を開設し、ケアマネージャー6名体制となったことにより、これまで以上にいわき市内で広範囲にきめ細かな対応ができることになりました。今後益々、各地域におけるニーズの掘り起こしを行い、高齢者の生活を支えて参ります。

「事業内託児所のあり方についての再検討」については、企業主導型託児所の受託を進めております。職員の仕事と育児の両立を支える重要な部署として、今後は更に地域の働く人々のニーズにも対応できるように、寄与して参ります。

年度当初の目標として「明るい笑顔で、地域に不可欠な存在を目指します」を掲げましたが、新型コロナウイルス感染症に翻弄された一年の中で、改めて笑顔でいることの大切さや、私共の法人が地域の皆様に貢献できることを考えさせられる時間でもありました。

利用者様・ご家族様、そして職員に対する安全安心の確保に努めながら運営すること、そして交流や活動が減少し、活気が失われつつある利用者様に職員が明るい笑顔で寄り添うことがどれだけ利用者様を元気づけるかという基本に立ち返り、利用者様が施設でも在宅でも「その人らしさ」を大切に生活する支援を次年度においても継続したいと考えます。

I 法人の運営体制

理事・監事体制

理事長 中村 雅英
理事 有橋正次郎
理事 齋藤 和夫
理事 鈴木 智
理事 吉田 一巳
理事 中村安佐子（常勤）
監事 山野邊元則
監事 木幡 仁一

評議員体制

評議員 赤津 隆彦
評議員 阿部 健一
評議員 門屋 博史
評議員 菊地 秀明
評議員 鈴木 重光
評議員 村田 裕之
評議員 小松甚兵衛（令和2年10月16日逝去）
評議員 箱崎 孝成（令和3年2月15日就任）

第三者委員会体制

委員 菊地 秀明
委員 山野邊元則

評議員専任解任委員会体制

委員 中村 秀樹
委員 山野邊元則
委員 木幡 仁一
委員 巽 龍也
委員 佐藤 孝男

業務顧問

会計顧問 渡辺公認会計士事務所 渡辺 和栄
労務顧問 あすか社会保険労務士法人 菊地 秀明

II 法人の事業

特別養護老人ホームサニーポート小名浜

- 1 特別養護老人ホーム事業 80床
- 2 短期入所生活介護事業 20床
- 3 通所介護事業 30名
- 4 居宅介護支援事業 (小名浜) 120名 + (内郷) 120名

5 その他（施設内託児事業）

Ⅲ 理事会・評議員会の開催

令和2年度における理事会を次のとおり開催致しました。

回	開催日	場 所	内 容
第1回	令和2年4月16日	サニーポート 小名浜	介護職員の勤務中における死亡事案について、職員の死亡事案に係る外部機関による調査結果について、死亡職員に係る退職加算金の支給について、平・内郷地区への事業展開について、企業主導型保育事業を活用した保育所新設について
第2回	令和2年5月27日	サニーポート 小名浜	事業活動実績報告、求人状況報告、企業主導型託児所について、夜間のオンコール業務について、亡き滝口ゆう子様に係る見舞金の支給について、令和元年度事業報告、令和元年度決算報告、令和元年度監事監査報告、評議員選任解任委員の承認について、東邦銀行の借入金変更について、内郷居宅介護支援事業所について
第3回	令和2年7月31日	書面による理事会の決議	居宅介護支援事業所サニーポート小名浜内郷事業所に係る運営規程について
第4回	令和2年12月17日	サニーポート 小名浜	事業活動実績報告、新型コロナウイルス感染症に関連する補助金について、補正予算について、給食委託契約の変更について、経理規定の改正について
第5回	令和3年2月4日	サニーポート 小名浜	事業活動実績報告、新型コロナウイルス関連の緊急融資と資金調達について、補欠評議員の選任について
第6回	令和3年3月25日	サニーポート 小名浜	補欠評議員の決定について、採用報告、事業活動実績報告、補正予算について、次年度予算について、次年度事業計画について、次期評議員の推薦について、居宅介護事業所管理者の変更について

令和2年度における評議員会を次のとおり開催いたしました。

開催日	場 所	内 容
令和2年6月10日	サニーポート小名浜	事業活動実績報告、求人状況報告、企業主導型託児所について、夜間のオンコール業務について、介護保険指定変更について、亡き滝口ゆう子様に係る見舞金の進呈について、令和元年度事業報告、令和元年度決算報告、令和元年度監事監査報告、評議員選任解任委員の承認について、内郷居宅介護支援事業所について

IV 役員の研修

令和2年度役員研修については、コロナ禍から開催自体が縮小され、総会等も資料の送付に止まるなどし、参加ができませんでした。本年度は、開催日程の案内が到達しておりますので、是非参加申込をし、役員の皆様の参加をお願いする考えでおります。

VI 職員の推移

職員の退職者数は、開設年度が最も多く、離職率も25パーセントを超えておりました。その後離職率が減少し、一昨年度は、離職率が17パーセント台でした。しかし、昨年度は、看護職の離職者が多かったことから、全体の離職率が19パーセントを超え、やや増加しております。

職員の確保におきましては、ハローワーク小名浜、福島県社会福祉協議会、ふくしま生活・就職応援センターや福祉系の専門学校、大学に求人票の提出をするとともに、福島県労働局等主催の就職説明会に参加しました。いわき市内の各高等学校の進路指導教諭から求職情報を得て、採用活動を行いました。福祉系を希望する生徒の数が非常に少なくなっており、新卒の採用に至りませんでした。職員の退職者により、その都度中途採用を行っておりますが、令和3年度の新卒採用予定者を高卒2名、専門学校卒・大卒で1名と致しました。次年度の卒業生も、福祉系の求職者数が少ないという情報から進路指導教諭と数多く面会の上、退職者情報の入手に努め、新卒の確保に鋭意努めたいと考えております。

各部署配置人員（全職員名）

管理職	事 務	相 談	居宅介護	機能訓練	看 護	託 児	栄 養
3	3	3	7	2	8 (4)	4 (2)	2
用務運転	渚 (短期)	潮 (特養)	湊 (特養)	旭 (特養)	岬 (特養)	通 所	歯科衛生
7 (7)	10 (4)	11 (4)	12 (4)	12 (4)	12 (2)	9 (4)	1

※数字は総人員 () 内数はパート数

各部署離職率

管理職	事 務	相 談	居宅介護	機能訓練	看 護	託 児	栄 養
0	0	3 (2.7%)	1 (0.9%)	0	4 (3.6%)	0	0

用務運転	渚（短期）	潮（特養）	湊（特養）	旭（特養）	岬（特養）	通 所	歯科衛生
1（0.9%）	1（0.9%）	4（3.6%）	0	4（3.6%）	1（0.9%）	2（1.8%）	0

※数字は、離職者数（%）は、全体に対する離職率

※1人に対して0.9%（離職率19.8%÷離職者数21人）

全体離職率

年度末職員数	106名
離職者数	21名
離職率	19.8%

全体職員の推移

	採用者数	離職者数	年度末在職者数	離職率
平成27年度	52	27	101	26.7%
平成28年度	29	26	104	25.0%
平成29年度	27	21	110	19.0%
平成30年度	18	20	108	18.5%
令和元年度	17	19	106	17.9%
令和2年度	21	21	106	19.8%

Ⅶ 各事業別報告

特別養護老人ホームサニーポート小名浜

令和2年度に於きましては、新型コロナウイルス感染症の影響で入退院に制限がある中、入院日数の長期化や新規入居者の入居に関するPCR検査の実施による入所前期間の長期化が影響し、大きく稼働率が低下いたしました。特に10月・11月には、87.9%まで低下いたしました。

入居者の平均要介護度は、令和元年度4.07に対して令和2年度は4.08でありました。虐待等による行政措置や特例入所もあり、福祉的入居へのきめ細かな対応が求められております。

入居者の処遇面に関しましては、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い生活面・面会や看取りに関して大きな変化がありました。

生活面につきましては、外出自粛の中で施設内での対応が求められ従来のような外出ドライブ等のレクリエーションの代わりに、個別の施設内散歩や調理レク・最小集団での軽体操等の実施に留まりました。コロナ禍で利用者の精神衛生上の安定を図ることが各種感染症に対する対応の中で今後の大きな課題となりました。

面会は、面会の停止・正面玄関でのガラス扉越し・オンライン面会の3段階の面会制限を感染症の蔓延時期に応じて行いました。オンライン面会を行うことで遠方のご家族への対応も可能となりました。

看取り介護の面では、終末期のご家族との面会方法や面会後の換気等の実施・ご家族の宿泊付き添いへの支援など新型コロナウイルス感染症下での新たな看取り介護に対応しました。

今後の課題として、新型コロナウイルス感染症下での稼働率管理・処遇管理等について令和2年度に行った各種対策の中で何が適切で、何が不適切であったかの検証を行い、安心して生活していただける入居環境の整備が求められております。

令和2年度特別養護老人ホーム稼働率推移 (%)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期平均	
95.79	91.94	91.67	93.87	90.40	89.13	92.13	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期平均	年間平均
87.90	90.29	94.23	95.52	97.01	97.26	93.70	92.92

令和2年度特別養護老人ホーム入居者数実績 (人)

上期	4月	5月	6月	7月	8月	9月
要介護1	1	1	2	2	2	2
要介護2	1	1	1	1	1	1
要介護3	17	17	17	17	17	17
要介護4	31	30	30	28	28	29
要介護5	30	29	29	29	30	29
在籍計	80	78	79	77	78	78
入院：延日数	52	107	54	59	86	131
外泊：延日数	0	0	0	0	0	0

下期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均／月
要介護1	1	1	1	1	1	1	16	1.33
要介護2	1	1	1	1	1	1	12	1.00
要介護3	18	16	17	19	20	19	211	17.58
要介護4	29	27	28	26	26	27	339	28.25
要介護5	32	33	33	34	35	34	377	31.42
在籍計	81	78	80	81	83	82	955	79.58
入院：延日数	191	109	106	52	54	84	1085	90.42
外泊：延日数	0	0	0	0	0	0	0	0

令和3年3月31日現在入居者介護度別状況（人）

性別	男性	女性	合計
要介護1		1	1
要介護2		1	1
要介護3	5	15	20
要介護4	3	23	26
要介護5	7	27	34
合計	15	67	82

令和3年3月31日現在入居者介護度別平均年齢状況（歳）

性別	男性	女性	平均
要介護1		90.0	90.0
要介護2		86.0	86.0
要介護3	82.40	87.93	85.17
要介護4	80.00	90.47	85.24
要介護5	73.71	86.92	80.32
平均	78.70	88.26	85.35

令和3年3月31日現在入居者介護度別市町村状況（人）

市町村名	いわき市		浪江町		富岡町		大熊町		小野町		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
要介護1		1										1
要介護2		1										1
要介護3	5	15									5	15
要介護4	3	23									3	23
要介護5	7	25				1		1			7	27
小計	15	65				1		1			15	67
合計	80				1		1		0		82	

短期入所生活介護事業所サニーポート小名浜

令和2年度に於きましては、新型コロナウイルス感染症の影響で令和元年度70.34%に対して令和2年度は56.17%であり大きく稼働率が低下しました。

特に、感染症対策として利用を控える利用者の増加が見られました。

また、当施設の対応としては、新型コロナウイルス感染症下でも、利用者の長期入所固定を行うことなく、短期間の利用も可能にすることで急な対応も可能としました。緊急時の対応としては、1週間の体調管理期間の設定以外にも居室待機期間の設定を行っております。

利用者の登録者数は令和3年3月31日付けで71人、内訳は要介護2及び要介護3の方が中心となっています。

また、昨年に引き続き在宅酸素利用者の受入れや看護師との協力のもと、胃瘻や経鼻経管栄養の方の受入を進めました。

今後の課題としては、継続して利用者の安定的な利用について地域ケアマネージャー等への啓発を行います。また、新型コロナウイルス感染症下での臨機応変な受け入れ方法等の検証が必要です。

令和2年度短期入所生活介護事業所稼働率推移 (%)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期平均	
57.17	65.16	61.17	55.48	61.45	67.17	61.26	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期平均	年間平均
59.84	59.50	46.77	41.29	50.00	49.03	51.07	56.17

令和2年度短期入所生活介護事業所利用者数実績 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	3	3	3	4	5	4	5	6	5	4	6	4	52
要介護2	9	8	12	10	10	8	6	7	6	3	8	8	95
要介護3	9	6	8	8	8	7	5	6	8	7	10	8	90
要介護4	7	5	5	7	7	6	4	6	6	4	2	5	64
要介護5	4	8	5	4	6	6	6	5	5	4	5	5	63
合計	32	30	33	33	36	31	26	30	30	22	31	30	364

令和3年3月31日現在利用者介護度別状況 (人)

性別	男性	女性	合計
要支援2		2	2
要介護1	4	8	12
要介護2	7	8	15
要介護3	3	15	18
要介護4	5	9	14
要介護5	3	7	10
合計	22	49	71

令和3年3月31日現在利用者介護度別平均年齢状況（歳）

性別	男性	女性	平均
要支援2		93.0	93.0
要介護1	83.3	86.5	85.4
要介護2	80.4	85.3	83.0
要介護3	84.3	87.4	86.9
要介護4	84.2	87.3	86.2
要介護5	76.0	85.3	82.5
平均	81.7	86.8	85.2

通所介護事業所サニーポート小名浜

令和2年度に於きましては、平均稼働率令和元年度52.96%に対して38.15%と大きく減少しました。新型コロナウイルス感染症の影響は令和2年2月頃より始まり令和2年度全体にわたっております。特に外出自粛に伴う利用控えに加えて新規の利用者の登録も低調に推移しました。

利用者の登録者数は令和3年3月31日付けで41人であり、前年度の51人から10人の減少となっています。処遇の面では、リハビリやレクリエーションの充実を図ることで在宅での生活を維持継続できることを目的に、個別性を重視したケアを目指しました。

今後の課題としては、継続して利用者の安定的な利用について地域ケアマネージャー等への啓発を行います。また、新型コロナウイルス感染症下での受け入れ方法等の検証が必要です。

また、個別性を重視したリハビリとレクリエーションの更なる充実により、在宅での生活の継続の支援が出来る体制の構築が必要であります。

令和2年度通所介護事業所稼働率推移（%）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期平均	
42.82%	39.74%	42.95%	40.62%	39.62%	38.08%	40.64%	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期平均	年間平均
39.51%	39.60%	37.16%	33.61%	33.19%	30.86%	35.66%	38.15%

令和2年度通所介護事業所利用者数実績（人）

	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	実人数	延人数										
要支援1	1	4	1	4	1	5	1	4	2	8	1	5
要支援2	4	18	4	13	4	23	3	16	3	16	3	16
要介護1	10	96	13	83	13	94	13	101	14	93	12	89
要介護2	10	66	9	70	9	57	9	62	7	47	7	47
要介護3	10	92	9	86	9	90	9	87	9	86	9	83
要介護4	4	31	5	38	5	46	5	47	7	46	7	46
要介護5	4	27	3	16	3	20	2	12	2	13	2	11
合計	46	334	44	310	44	335	42	329	44	309	41	297

	10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計
	実人数	延人数	延人数										
要支援1	2	7	2	8	1	5	1	4	1	4	1	5	63
要支援2	3	17	3	15	2	14	2	12	2	12	2	11	183
要介護1	12	91	11	71	11	81	9	63	10	61	8	57	980
要介護2	8	61	10	66	9	67	9	56	9	64	9	67	730
要介護3	9	87	9	80	9	83	9	68	8	64	7	64	970
要介護4	6	47	7	45	5	46	5	35	4	30	4	39	496
要介護5	2	10	2	12	2	5	2	4	1	4	2	7	141
合計	42	320	44	297	39	301	37	242	35	239	33	250	3563

令和3年3月31日現在利用者介護度別状況（人）

性別	男性	女性	合計
要支援1	1		1
要支援2		2	2
要介護1	3	7	10
要介護2	3	7	10
要介護3	1	9	10
要介護4	1	5	6
要介護5	1	1	2
合計	10	31	41

令和年3月31日現在利用者介護度別平均年齢状況（歳）

性別	男性	女性	平均
要支援1	61.0		61.0
要支援2		90.0	90.0
要介護1	86.7	85.4	85.8
要介護2	86.0	89.3	88.3
要介護3	82.0	86.2	85.8
要介護4	87.0	87.6	87.5
要介護5	67.0	92.0	79.5
平均	81.5	87.4	86.0

居宅介護支援事業所サニーポート小名浜

令和2年度に於きましては、月平均で前年度130.75人より12.34人減の118.41人の給付管理を行いました。これは、9月より開設した内郷事業所の開設に伴い1人が移籍したことに伴う定員の減少によるものです。

ケアマネジャー1人の平均受け持ち件数としましては前年度 26.15 人（5 人在職）から 7.68 人増の 33.83 人（3.5 人在職）になっております利用者のニーズ対応に関しては昨年に続き福祉ニーズ・医療的ケアの区別なく、幅広く受け入れる体制を構築することが出来ました。

今後の課題と致しまして、複雑化する利用ニーズに対応できるよう地域包括センターとの連携等、基本的な業務についての把握や見直しを行う必要があると考えます。

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
給付管理利用者数	101	108	107	107	111	71
予防給付管理利用者数	34	31	34	34	33	24
合計	135	139	141	141	144	95
契約者数	148	147	146	146	150	107

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
給付管理利用者数	74	83	87	85	85	82	1101
予防給付管理利用者数	23	22	22	22	21	20	320
合計	97	105	109	107	106	102	1421
契約者数	107	113	109	109	110	102	1494

居宅介護支援事業所サニーポート小名浜内郷事業所

令和2年度に於きましては、月平均で、48.42人の給付管理を行いました。

9月1日に開設し、当初ケアマネジャー2人体制で運営をはじめ、令和3年1月より1人を増員して3人体制で運営を行っております。

ケアマネジャー1人の年度末での受け持ち件数としましては17.66人になっております

今後の課題と致しまして、まだ開設半年でありますので、利用者数・ケアマネジャーの受け持ち件数ともに、まだまだ増加が必要であります。このためには、地域の福祉ニーズに対応できるように地域包括支援センターや行政との連携が出来る体制の構築等が必要であります。

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
給付管理利用者数						37
予防給付管理利用者数						8
合計						45
契約者数						46

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
給付管理利用者数	38	42	40	42	42	44	285
予防給付管理利用者数	6	7	8	8	8	9	54
合計	44	49	48	50	50	53	339
契約者数	45	50	52	55	53	54	355

公益的な取り組みについて

令和 2 年度に於きましては新型コロナウイルス感染症により多くの事業が中止及び延期が続いております。その中でも実践 6 年目の地域の福祉ニーズ等を把握するためのサロン事業としての認知症カフェ事業及び地域の相談窓口の設置等を計 4 回実施致しました。

今後の課題として、新型コロナウイルス感染症下においても地域との連携が出来る体制の構築が必要であります。